

33	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="172 159 320 203">課題番号</th> <th data-bbox="320 159 895 203">研究課題名</th> <th data-bbox="895 159 1310 203">研究代表者</th> <th data-bbox="1310 159 1437 203">評価結果</th> </tr> <tr> <td data-bbox="172 203 320 293">14103008</td> <td data-bbox="320 203 895 293">層状酸化物熱電材料の自己組織化配向制御による高効率化</td> <td data-bbox="895 203 1310 293">河本 邦仁(名古屋大学・大学院工学研究科・教授)</td> <td data-bbox="1310 203 1437 293">A</td> </tr> </table>	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果	14103008	層状酸化物熱電材料の自己組織化配向制御による高効率化	河本 邦仁(名古屋大学・大学院工学研究科・教授)	A	<p>(意見等)</p> <p>ZnO-In₂O₃およびCa-Co-O系のプリカーサ板状粒子の合成を行うとともに、RTGG法による層状酸化物の創製に成功したこと、この材料によってZTがおよそ0.5という熱電特性を得ていることは優れた成果である。しかし、この成果の主要部分が基盤研究(S)の開始以前のものであるという指摘がある。この研究課題がスタートして間もないことを考えるとやむを得ないかもしれないが、基盤研究(S)の重要性を考えるといつその努力を期待したい。また、研究設備に関しては、申請内容とは異なるものが購入されており、このような変更によっても研究遂行に支障がないことを説明すべきである。研究内容自体も当初計画とかなり異なっているという指摘もある。計画変更は妥当なものとも思えるが、当初の計画が十分吟味されていなかったという指摘を免れない。</p> <p>上記内容の意見書をベースにヒアリングを行った。ヒアリングの結果、基盤研究(S)として新たな成果があがっており、研究設備の変更も本研究遂行に差し支えないものであることが明らかとなった。今後は、当初の計画に従って優れた成果をあげられることを期待したい。</p>
課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果							
14103008	層状酸化物熱電材料の自己組織化配向制御による高効率化	河本 邦仁(名古屋大学・大学院工学研究科・教授)	A							
34	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="172 1111 320 1155">課題番号</th> <th data-bbox="320 1111 895 1155">研究課題名</th> <th data-bbox="895 1111 1310 1155">研究代表者</th> <th data-bbox="1310 1111 1437 1155">評価結果</th> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1155 320 1245">14103011</td> <td data-bbox="320 1155 895 1245">超好熱始原菌 T.kodakaraensis KOD1 の全遺伝子機能解析</td> <td data-bbox="895 1155 1310 1245">今中 忠行(京都大学・大学院工学研究科・教授)</td> <td data-bbox="1310 1155 1437 1245">A</td> </tr> </table>	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果	14103011	超好熱始原菌 T.kodakaraensis KOD1 の全遺伝子機能解析	今中 忠行(京都大学・大学院工学研究科・教授)	A	<p>(意見等)</p> <p>超好熱始原菌の一種である T. kodakaraensis KOD1 株ゲノム上に存在する全遺伝子の機能解析を目指した研究であり、これまでのところ順調に進んでいると思われる。当初の目的は全遺伝子機能解析であったが、網羅的に全遺伝子の機能解析を行うことは時間的に困難であり、興味深い機能から優先的に解析していくことにより、主な遺伝子の機能解析が達成できると期待される。この点は研究代表者自身によって、遺伝子の選択基準の修正が今後の研究方針として報告書に述べられている点でもある。研究計画を若干変更することにより、未解析の遺伝子について重点的に研究を展開すれば大きな成果が期待できると判断する。</p>
課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果							
14103011	超好熱始原菌 T.kodakaraensis KOD1 の全遺伝子機能解析	今中 忠行(京都大学・大学院工学研究科・教授)	A							